

## 地震から身を守るために

### まず落ち着きましょう

- ① 火の元の確認
 

初期消火が大切です。ただし、火を使っている揺れがおさまってから対処しましょう。
- ② 出口を確保
 

まず部屋の窓や扉、玄関ドアを開けましょう。
- ③ 落下物に注意
 

頭を守り、机の下に潜るなど安全を確保しましょう。屋外の場合は瓦や看板の落下などにも注意してください。
- ④ ガラスや塀には近寄らない
 

ガラスの破片は怪我のもとです。塀の倒壊にも注意が必要です。



ラジオは必ず役に立ち！

# 防災手帳

エフエフ

ラジオの音

南海放送 FM91.7MHz または 91.2MHz AM1116kHz

ラジオ受信機の周波数を合わせて、ラジオ放送を聴く電波を拾う

ラジオの聴き方

ネット環境があれば、パソコンやスマートフォンアプリで、無料でラジオが聴けるサービス。放送終了後1週間は、タイムリーにバックアップされた放送を聴くことも可能で聞き逃した放送を聴くことも多いため、緊急時の情報収集にも適している。

ネット環境があれば、パソコンやスマートフォンアプリで、無料でラジオが聴けるサービス。

放送終了後1週間は、タイムリーにバックアップされた放送を聴くことも可能で聞き逃した放送を聴くことも多いため、緊急時の情報収集にも適している。

ラジオの聴き方

ラジオ受信機の周波数を合わせて、ラジオ放送を聴く電波を拾う

ラジオの聴き方

南海放送ラジオ AM1116kHz または 91.2MHz FM91.7MHz

※FMはワイドFM対応ラジオをご準備下さい

radiko (ラジオ)

ダウンロード

QRコード

Android

iOS

メール radio@nbc.co.jp

(Twitter) フォロワー @RNB1116 #RNB1116

ラジオの音

南海放送

## 崖・川・池など何がどう危険？

知っておきましょう「警戒レベル」

住民の行動 避難情報 相当情報		
5	命の危険	緊急安全確保 大雨特別警報 氾濫発生情報
>>> 警戒レベル4までに必ず避難！ <<<<		
4	避難	避難指示 土砂災害警戒情報 氾濫危険情報
3	高齢者など避難	高齢者等避難開始 大雨警報 洪水警報
2	避難行動の確認	大雨注意報 洪水注意報 氾濫注意情報
1	気象情報に注意	警戒レベルの可能性

気象庁や国土交通省などが出す情報には、警戒レベルのどの段階の情報かを表す数字が振られています。

例) 土砂災害警戒情報 (警戒レベル4相当)  
〇〇川氾濫危険情報 (警戒レベル4相当)

その情報が出たからといって必ず市町村が避難情報を出すわけではありません。

## 大雨から身を守るために

- ① 河川や用水路には近づかない
 

集中豪雨になると急に川や水路は増水します絶対に近づかないように!!
- ② 地面より低い道は通らない
 

歩行者用の地下道なども、水が流れ込むと危険です。
- ③ 冠水している道路は危険
 

冠水している道路は、境目が分からなくなるなど、危険な箇所がたくさんあります。
- ④ 避難が困難な場合は垂直避難を
 

無理に避難場所に行くのではなく、自宅や近隣の頑丈な建物の比較的高い階に避難すること(垂直避難)も1つの手です。

※垂直避難…安全な場所まで避難する時間がない場合、安全な場所と空間を確保するために上下垂直方向に避難すること。

## ハザードマップを活用

ハザードマップで検索

例えば? 松山市「洪水ハザードマップ」

自分の町の災害情報を知っておきましょう

市町村は拡大して細かく見られます

大雨の中 外の様子を見に行くのは大変危険!!

雨雲の動き/危険度分布

大雨危険度

知りたい地域の地図の上をクリック

気象庁のHPから「防災情報」をクリック

気象庁からの情報を活用

洪水

市町村は拡大して細かく見られます

大雨の中 外の様子を見に行くのは大変危険!!

自分の町の災害情報を知っておきましょう

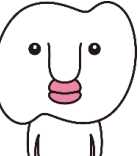
## 土砂災害の前兆を知ろう

- ① 崖崩れ
 

「崖にひび割れができる」「小石がパラパラと落ちる」「崖から水が湧き出る」「湧き水が止まる」など前兆はいろいろあります。
- ② 地滑り
 

地面のひび割れ、陥没、亀裂や段差の発生。井戸や沢の水が濁る、地鳴りがする、などに注意しましょう。
- ③ 土石流
 

「山鳴りがする」「急に川の水が濁ったり流木が混ざる」「雨が降っているのに川の水位が急に下がる」など。土石流は時速20~40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。



## 気象庁からの情報を活用

気象庁のHPから「防災情報」をクリック

雨雲の動き/危険度分布

大雨危険度

知りたい地域の地図の上をクリック

市町村は拡大して細かく見られます

大雨の中 外の様子を見に行くのは大変危険!!

自分の町の災害情報を知っておきましょう

洪水

市町村は拡大して細かく見られます

大雨の中 外の様子を見に行くのは大変危険!!

自分の町の災害情報を知っておきましょう



□下着 2組 □衣類

□ラック入手袋 1箱

□トイレットペーパー 12ロール

□ラップ 1本 □ビニール袋(各種)

□缶詰 4〜6缶(種類はいろいろ)

□ビスケットや板チョコ(菓子類)

□主食 無洗米 5kg

□飲料水(3L=500ml×6本)/日

●非常用の備蓄品<1人分>

□アルコール消毒液 □マスク □石鹸

□上履き □懐中電灯

□ティッシュ(ウエットタイプ/除菌だと◎)

□モバイルバッテリー □携帯ラジオ(電池入り)

□絆創膏 □笛・防犯サイザー

□水(水筒) □鉛やチヨコレート

●常備したいもの(カバの中など)

📱 備品をチェックしてみよう

👤 自分のプロフィール

名前	血液型
住所 〒	
生年月日 年 月 日	携帯番号
電話番号	FAX番号
メールアドレス	
勤務先/通学先 名称	
勤務先/通学先 住所 〒	
勤務先/通学先 電話番号	勤務先/通学先 FAX 番号
覚えておきたいメモ(家族や大切な人の緊急時連絡先控え、かかりつけ病院など)	

📍 自分の避難場所情報 (記入しておきましょう)

避難所が過密状態になることを防ぐため、いま一度ハザードマップを確認し、親戚や友人の自宅、または宿泊施設などへの分散避難も考えましょう。

● 自宅周辺

一時避難場所は？

広域避難場所は？

● 勤務先周辺

一時避難場所は？

広域避難場所は？

(注意)あくまで応急処置です！治療ではありません！

とにかく冷やす

● やけど

※腕や足に釘や棒などが刺さり、貫通してしまった場合は抜かないで病院へ行く

刺さったものは絶対に抜かないこと！

● 刺し傷

患部を心臓より高い位置にあげましょう

④ Elevation = 挙上

ガーゼ・包帯などで巻きましょう

③ Compression = 圧迫

患部をひやしましょう



② Icing = 冷却

患部が動かないように

① Rest = 安静

● 怪我(外傷)の応急処置(RICE(ライス)処置)

🏠 応急処置

津波が押し寄せたとき、  
一時的に避難するための  
緊急避難場所として  
市町村によって指定されたビル  
(建物)



津波避難ビル

津波から命を守るために  
整備された施設



津波避難場所

災害の危険があり  
その危険がなくなるまで  
必要な期間滞在する施設



指定避難所(避難所)

災害から命を守るために  
緊急的に避難する場所



指定緊急避難所(避難場所)

🗨️ 知っておきたいマーク

● 自宅から避難場所までのルート

(作成欄)

● 勤務先などから自宅までのルート

(作成欄)

※家族や大切な人の写真を貼っておくのもオススメです

● マチア欄

📞 災害用伝言ダイヤル

171 をダイヤル

録音 1 再生 2

連絡をとりたい人の電話番号をダイヤル

1# を押す

録音する 9# で終了 再生する

📄 災害用伝言版(文字伝言)

●各携帯会社の災害伝言版

各携帯会社の 災害用伝言版 にアクセス

登録 か 確認

コメントを入力 確認したい人の携帯番号を入力

●NTTの災害伝言版(web171) ※固定電話も可能

<http://www.web171.jp> にアクセスし利用規約に同意

連絡をとりたい人の電話番号をダイヤル

伝言を 登録 伝言を 閲覧

📶 公衆無線 LAN サービス

被災地域で無料開放される公衆 Wi-Fi

Wi-Fi を ON ⇒ 00000JAPAN(ワイブゼロジャパ) を選択